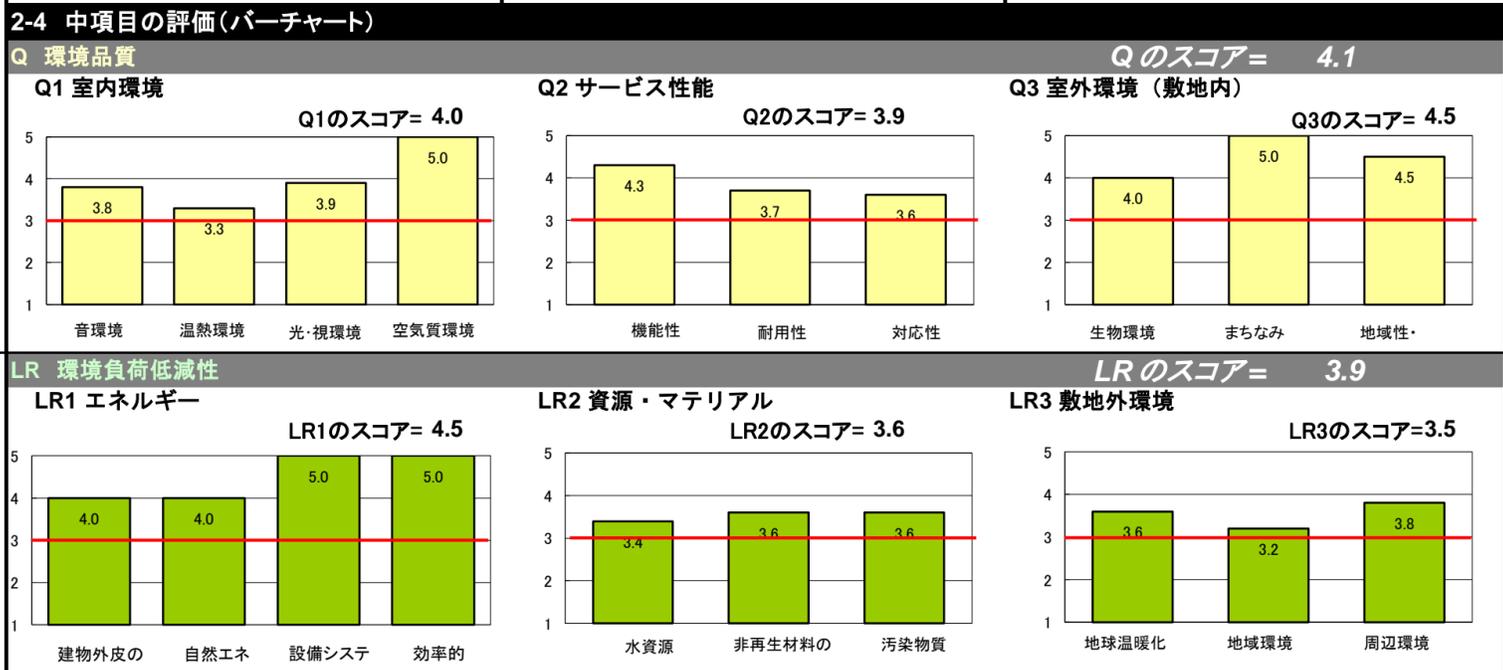
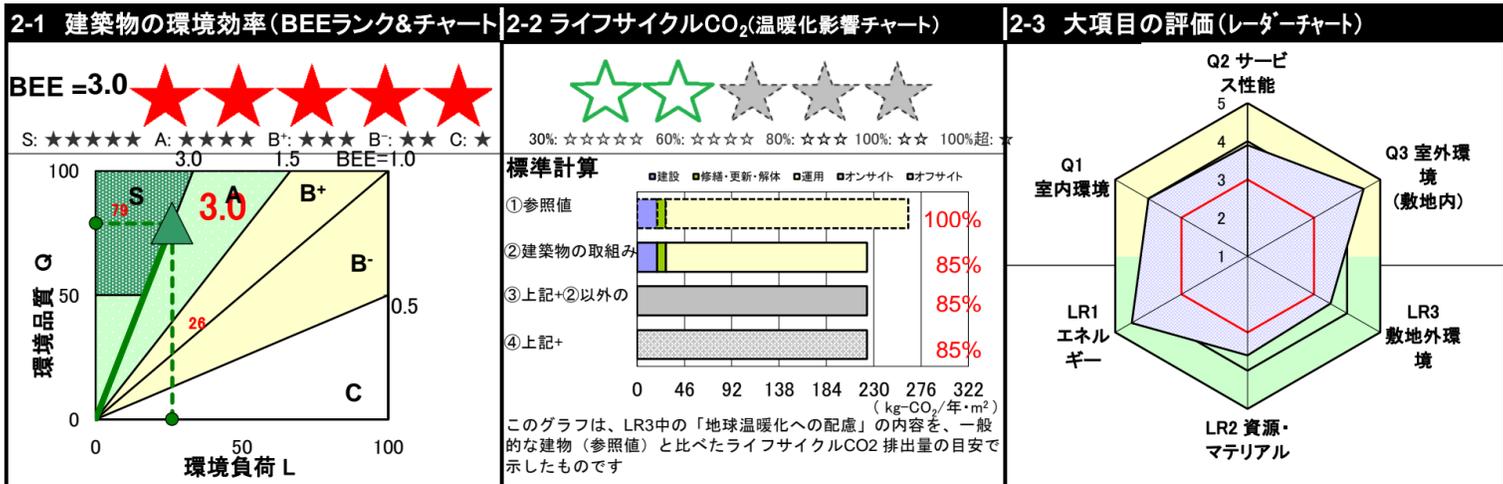


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社豊田自動織機(仮称)誠心寮	階数	地上11階
建設地	愛知県大府市一屋町4-47	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	500人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年2月20日
敷地面積	21,876 m ²	作成者	有川 翔馬
建築面積	2,950 m ²	確認日	2020年2月25日
延床面積	15,162 m ²	確認者	中沢 健



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">4.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>15.8 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	15.8 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	15.8 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>愛知県産ひのき、杉(サッシ、柵、机)</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体	
		Q 建築物の環境品質													
Q1 室内環境														4.0	
1 音環境														3.8	
1.1 室内騒音レベル														3.0	
1.2 遮音														4.5	
1 開口部遮音性能														5.0	
2 界壁遮音性能														3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														3.0	
1.3 吸音														3.0	
2 温熱環境														3.3	
2.1 室温制御														3.7	
1 室温														3.0	
2 外皮性能														3.0	
3 ゾーン別制御性														3.0	
2.2 湿度制御														3.0	
2.3 空調方式														3.0	
3 光・視環境														3.9	
3.1 昼光利用														3.0	
1 昼光率														3.0	
2 方位別開口														3.0	
3 昼光利用設備														3.0	
3.2 グレア対策														4.0	
1 昼光制御														5.0	
3.3 照度														3.0	
3.4 照明制御														3.0	
4 空気質環境														5.0	
4.1 発生源対策														5.0	
1 化学汚染物質														5.0	
4.2 換気														5.0	
1 換気量														5.0	
2 自然換気性能														3.0	
3 取り入れ外気への配慮														3.0	
4.3 運用管理														-	
1 CO ₂ の監視														3.0	
2 喫煙の制御														3.0	
Q2 サービス性能														3.9	
1 機能性														4.3	
1.1 機能性・使いやすさ														3.0	
1 広さ・収納性														3.0	
2 高度情報通信設備対応														3.0	
3 バリアフリー計画														3.0	
1.2 心理性・快適性														4.5	
1 広さ感・景観(天井高)														3.0	
2 リフレッシュスペース														3.0	
3 内装計画														3.0	
1.3 維持管理														4.5	
1 維持管理に配慮した設計														3.0	
2 維持管理用機能の確保														5.0	
2 耐用性・信頼性														3.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振														3.8	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														3.0	
2 免震・制震・制振性能														3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数														3.4	
1 躯体材料の耐用年数														3.0	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														3.0	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														3.0	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														5.0	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														5.0	
6 主要設備機器の更新必要間隔														3.0	
2.4 信頼性														4.0	
1 空調・換気設備														3.0	
2 給排水・衛生設備														3.0	
3 電気設備														3.0	
4 機械・配管支持方法														3.0	
5 通信・情報設備														3.0	

3 対応性・更新性				0.2	4.5	0.29	3.0	3.0	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり				-	-	-	3.0	3.0	0.50	
1	階高のゆとり			-	3.0	-		3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.0	4.5	1.00	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	仕上げ材を痛めることなく更新が容易にできる。 仕上げ材を痛めることなく更新が容易にできる。 仕上げ材を痛めることなく更新が容易にできる。 仕上げ材を痛めることなく更新が容易にできる。 主要機器の更新ルートを確認している。	-	5.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	5.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	5.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30	-	-	-	4.5
1	生物環境の保全と創出	独自③	知多産ツツジや、大府市クロガネモチ等の地元種を採用。	-	4.0	0.30	-	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自④	スクラッチタイルを採用。階高2.8mとしてできるだけ高さを抑えた。	-	5.0	0.40	-	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	4.5	0.30	-	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④	南側駐車場は地域開放可能。中庭によるコミュニケーション誘発。	-	5.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		ポーラスコンクリート舗装(保水性・透水舗装)の採用。	-	4.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー				-	-	0.40	-	-	-	4.5
1	建物外皮の熱負荷抑制		等級4相当の断熱性能を確保。	3.0	4.0	0.33	-	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		採光利用及び通風利用。	3.0	4.0	0.17	-	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化		設備システムの高効率化によりBEI値0.83を達成。	3.0	5.0	0.33	-	-	-	5.0
4	効率的運用			0.1	5.0	0.17	-	-	-	5.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	-	-	-	-	
集合住宅の評価				1.0	5.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		エネルギーを管理する中央監視設備を計画している。	-	5.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		設備・運用・管理についてすまい手に適切な説明を行っている。	-	5.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	-	0.30	-	-	-	3.6
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1	節水		節水型便器を採用している。	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	1.00	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.6	0.63	-	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	② 独自	グリーン調達品目の採用。	3.0	5.0	0.20	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	3.0	0.05	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	独自	サッシに木材を使用。	3.0	4.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	4.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		GDP0、GWP1あるいは1未満。	-	5.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	-	0.30	-	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率85%	-	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
2.1	大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	4.0	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	敷地内に下水流量調整槽を設置。	-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	独自	察室分の駐車台数確保。出口での渋滞予測を実施。	-	4.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	分別可能なごみ置き場の設置。	-	5.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	4.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.8	0.33	-	-	-	3.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自		-	-	-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	4.7	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		風環境シミュレーションによる計画検討の実施。	-	5.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		第一種中高層地域の基準(2h、3h)を満たす。	-	4.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.7	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明なし。	-	4.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

株式会社豊田自動織機(仮称)誠心寮

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.8
Q2-2	耐震性・信頼性	3.7	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	4.5	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.09	外構緑化:15.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		2.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	1.0	-	愛知県産ひのき、杉(サッシ、棚、机)

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社豊田自動織機(仮)

計画上の配慮事項	
総合	<p>周辺環境への影響をできるだけ低減し近隣へ配慮を行っている。 寮生が安心して安全に暮らせる環境を提供できるような計画とした。 中庭など、寮生同士のコミュニケーションを図るためのスペースを建物内に配している。 長く使える寮として、建物の耐久性、メンテナンス性に配慮した。</p>
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生が落ち着いて過ごせるように、遮音性能について特に配慮。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンス、更新を重視した設備計画。 ・内装材は、ノンワックス床シートなど、メンテナンスしやすさに配慮。 ・BIM、CGによる内装検討
Q3 室外環境(敷地内)	<p>透水性ポーラスコンクリート舗装の採用等による敷地内温熱環境の向上 見通しのよい駐車場として防犯・安全対策に配慮。 地元に関連した材料の採用(外壁スクラッチタイル、木サッシの愛知県産ひのき集成材) 地元関連の植栽</p>
LR1 エネルギー	<p>ハイサイドライト、中庭を利用した採光、換気装置つきサッシによる自然換気 などによる自然エネルギーの利用。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>サッシ、つくりつけ家具等に木材を採用 環境にやさしい断熱材の採用</p>
LR3 敷地外環境	<p>渋滞解消を狙った車両動線計画 シミュレーションに基づく敷地外へのビル風影響に配慮した配置計画</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中の排水の適正な処理(フットタンク・中和装置等の設置) ・工事中の環境パトロールの実施 ・低騒音・低振動重機の採用